

令和6年8月29日  
徳島県教育委員会特別支援教育課 中山

地域スポーツ・文化芸術創造と部活動改革に関する実行会議  
第1回スポーツWGに係る情報提供および意見等について

論点2（1）：委託事業の実施を踏まえた成果・課題・解決策

○「Specialプロジェクト2020」事業や「障害者スポーツ推進プロジェクト」  
事業の受託による本県における成果

- (1) 県内におけるパラスポーツ「ボッチャ」の普及
  - 学校間交流等の活性化
- (2) パラスポーツやニュースポーツをとおした地域交流の促進
  - 地域の婦人会やスポーツ団体、障がい者施設等と交流
  - 特別支援学校で学ぶ児童生徒や障がいに対する理解の啓発
- (3) コロナ禍におけるオンラインを活用した競技「ターゲットボッチャ」や  
「オンラインバスケットボール」の考案による新しい形での交流および  
大会の開催
  - 時間や距離の制約を超えた活動参加を実現
- (4) 地域のスポーツクラブを活用した水泳の指導実践
- (5) 特別支援学校卒業後の継続的な活動を促す環境整備
  - 教育と福祉が連携した大会の開催
  - デフ卓球部の創設（令和6年度予定）

○課題

- (1) 特別支援学校卒業後にスポーツ活動を継続できる環境づくり
  - 活動場所の確保
  - 指導者・支援者の障がいに対する理解啓発
  - 活動場所までの移動手段の確保
  - 地域のスポーツクラブやスポーツ団体等への入会に係る保護者負担の軽減
- (2) パラスポーツやニュースポーツの普及促進

○考えられる解決策等

- (1) 特別支援学校及び特別支援学級在籍時からの卒業後を見据えた移行的な取組の実現。
  - 特別支援学校が実施している就労支援「就業体験実習」を参考
    - ・受入側の障がいに対する理解推進
    - ・当事者に対する新たな環境への適応支援
- (2) 地域のスポーツクラブやスポーツ団体とのパラスポーツやニュースポーツを用いた交流の更なる推進

## 論点2 (13)：障害がある生徒の地域におけるスポーツ環境の整備

- (1) 地域のスポーツクラブやスポーツ団体等における「障がい」に対する理解  
→ 指示の出し方、支援や介助方法、パニック時の対応など
- (2) 「障がい」に関する理解を有する指導者・支援者的人材確保
- (3) 「障がい」に考慮した活動内容や柔軟なルール設定の検討  
→ 「競技者」だけでなく、「共に活動を楽しむ者」としての視点
- (4) 活動場所まで自力で通うことができない子どもの移動手段の確保  
→ 送迎による保護者負担が懸念  
(保護者が送迎できないために参加が制約される可能性もある。)